

稲毛第3小学校新築工事地盤調査地質柱状図(No. 1)

調査地点 千葉市稲毛海岸二丁目御指定地
調査年月日 昭和49年 7月9日～7月10日

標 高 TBM - 0.705 m
孔内水位 G.L. - 0.50 m

標	標	深	層	柱	色	地	観	相	相	標準貫入試験										試料			
										深度	N	10cm毎の			N 値						採取方法	採取深度	
												m	回	cm	10cm	20cm	30cm	0	10	20			30
尺	高	度	厚	図	調	質	察	密度	稠度	m	回	cm	10cm	20cm	30cm	0	10	20	30	40	50	採取方法	m
1	-1.91	1.20	1.20		茶褐色	ローム	腐植物多量に混入するロームから成る表土である。	緩	極軟	115	9/31	1/10	4/11	4/10									
2	-1.99	2.00	0.80		暗灰色	細砂	全般的に含水量が多い。			146	1/34			1/34									
3	-3.19	3.20	1.20		暗灰色	シルト質粘土	軟弱である2.30m附近細砂をレンズ状に挟む。	緩	極軟	249	7/34	2	2	3/14									
4	-3.79	3.80	0.60		暗灰色	中砂	貝殻多量に混入する。			349	9/30	2	3	4									
	-4.19	4.20	0.40		暗黄灰色	シルト	シルト細砂中砂の互層である礫を混入する。	415	6/32	1/10	2/11	3/11											
5					黄灰色		4.30m附近礫を混入する。	中密	中密	515	25/30	6/12	8/8	11/10									
6							雲母有残物混入する。			615	40/30	10	13	17									
7							6.20m附近浮石をレンズ状に挟む。	極密	極密	645	50/28	14	17	19/8									
8										745	41/30	11	14	16									
9							9.00m附近含水量が多い。	密	密	815	36/30	10	12	14									
10					黄褐色		9.70mシルトを薄く挟む。			945	21/30	5	7	9									
11	-10.79	10.80	6.60		黄褐色	中砂	全般的に含水量が多い。	中	中	1045	19/30	4/11	6/9	9/10									
12	-12.39	12.40	1.60		褐灰色	砂混り貝殻	貝殻を多量に混入する。			1145	50/22	21	24	5/2									
13	-12.94	12.95	0.55		黄褐色	細～中砂	全般的に均質な状態である極密な状態である。	極密	極密	1215	50/20	24	26										
14					黄褐色	シルト	雲母混入する。			1347	50/29	15	16	19/9									
15	-14.89	14.90	1.95		黄褐色	シルト	全般的に細砂をブロック状に挟む。	極密	極密	1435	50/26	12	22	16/6									
16					黄褐色	シルト	雲母有残物混入する。			1515	50/27	15	20	15/7									
17	-16.69	16.70	1.80		黄褐色	シルト	全般的にシルトを混入する。	極密	極密	1543	50/28	15	19	16/8									
18					黄褐色	シルト	雲母有残物混入する。			1615	50/29	15	19	16/8									
19	-18.54	18.55	1.85		黄褐色	シルト	全般的にシルトを混入する。	極密	極密	1644	50/26	12	22	16/6									
20					黄褐色	シルト	雲母有残物混入する。			1744	50/27	15	20	15/7									
21	-20.42	20.43	1.88		黄灰色	細砂	全般的に均質で極密な状態である。	極密	極密	1815	50/28	15	19	16/8									
22										1841	50/29	15	19	16/8									
23								1915	50/29	15	19	16/8											
24								1942	50/29	15	19	16/8											
25								2015	50/29	15	19	16/8											
26								2043	50/29	15	19	16/8											

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア-試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20	3.20-3.70	は試料採取深度 (m)
45	45	は回収比 (50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)
50	50	
3.70		

3. 標準貫入試験の項で 10 cm 毎の打撃回数とは最初の 10 cm 貫入に要した打撃回数, 10cm-20cmの間で要した打撃回数, 20cm-30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

稲毛第三小学校新築工事地盤調査地質柱状図 (NO. 2)

調査地点 千葉市稲毛海岸二丁目御指定地
調査年月日 昭和49年 7月4日～7月8日

標 高 TBM - 0.355m
孔内水位 GL - 0.30m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験					試料						
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値	採取 方法	採取 深度 m				
												10 cm	20 cm	30 cm							
	-0.56	0.20	0.20		暗褐色	表土	有機物貝殻混入する。														
	-0.96	0.60	0.40	○ ○ ○	褐灰色	砂混り貝殻	貝殻多量に混える。														
1	-1.66	1.30	0.70	○	暗灰色	細砂	含水量が多い。	極緩		115	4/33	1/12	1/9	2/12							
2	-2.66	2.30	1.00	○ ○	暗灰色	中砂	貝殻混入す含水量が多い。	中		148 215	15/30	4	5	6							
3	-3.46	3.10	0.80	○	暗灰色	細砂	全般的に含水量が多い。	中		245 315	19/30	7	6	6							
4	-4.56	4.20	1.10	○ ○	暗灰色	中砂	全般的に含水量が多い貝殻混入する。	極緩		345 415	2/36	1/28	1/10								
5				○ ○ ○			4.30m附近貝殻を多量に混入する。含水量が多い。	中		451 515	12/30	3/11	4/9	5/10							
6							全般的に均質な細砂である。	密		545 615	32/30	8	10	14							
7							雲母有機物混入する。	密		645 715	44/30	11	15	18							
8					黄灰色	細砂		極密		745 815	50/21	20	27	3/1							
9										836 915	50/20	22	28								
10							9.00m附近シルト層を薄く挟む。又所々にシルトを薄く挟む。極密な状態である。			935 1015	50/27	14	19	17/7							
11										1042 1115	50/29	10	17	23/9							
12										1144 1215	50/26	13	20	17/6							
13	-13.26	12.90	8.70							1241 1315	50/25	14	21	15/5							
14	-14.16	13.80	0.90	○ ○	褐灰色	砂混り貝殻	二枚貝を多量に混える			1340 1415	50/22	20	24	6/2							
15					褐灰色	細砂	全般的で均質な状態である。雲母混入する。			1437 1515	50/20	24	26								
16	-16.26	15.90	2.10							1535 1615	50/17	27	23/7								
17							16.20m附近シルト混り細砂を挟む。均質で極密な状態である。			1632 1715	50/15	29	21/5								
18					黄褐色	中砂	雲母有機物混入する。			1730 1815	50/15	30	20/5								
19							19.10mシルトを多量に混入する又粗砂を混える。			1830 1915	50/15	30	20/5								
20	-20.56	20.20	4.30					極密		1930 2015	50/14	24	26/4								
	-20.65	20.29	0.07		黄灰色	細砂	均質である。			2029											

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎ 2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20 / 45 / 50 / 3.70
3.20 - 3.70 は試料採取深度 (m)
45 / 50 は回収比 (50cm : 貫入深さ, 45cm : 試料長さ)

3. 標準貫入試験の項で 10 cm 毎の打撃回数とは最初の 10 cm 貫入に要した打撃回数, 10cm ~ 20cm の間で要した打撃回数, 20cm ~ 30cm の間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

調査件名 千葉市立稲浜小学校増築地質調査委託

地質柱状図 (No. 1)

調査場所 千葉市稲毛海岸 2-3-2

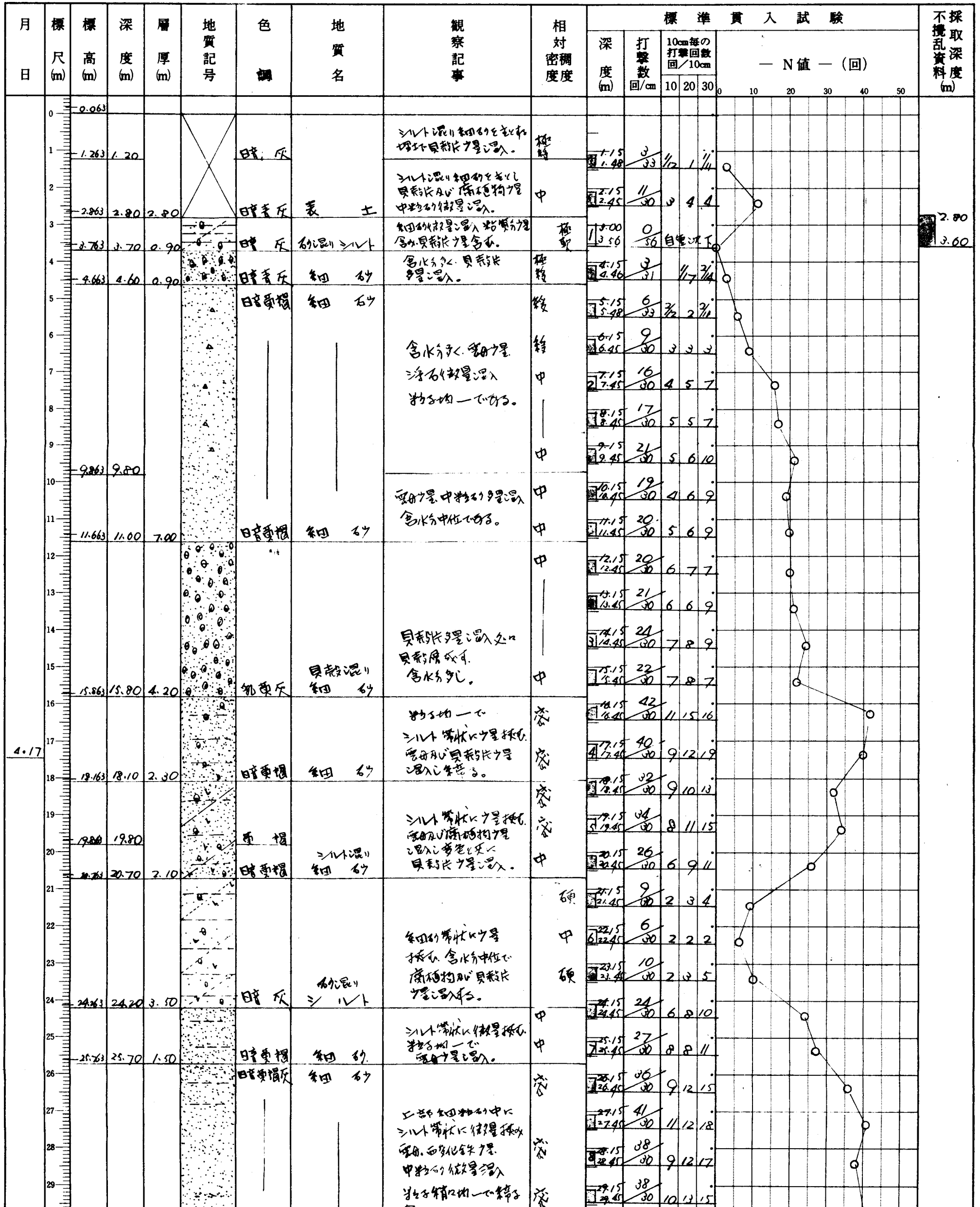
標高 — 0.063 M

調査期間 自昭和56年4月9日 至 4月9日

水位 (自然・孔内) G.L. — 1.26 M

現場担当者 工藤 卓也

日本工務株式会社



深度 (m)	土質	含水率 (%)	液性指数	塑性指数	备注
30.18	砂	30.10			含水率小位。塑性指数 記入。
32.70	砂	30.00			含水率小位。塑性指数 記入。
36.41	砂	27.40			含水率小位。塑性指数 記入。